

カンタキサンチンに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成26年8月6日～平成26年9月4日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 2通
4. 意見・情報の概要及び食品安全委員会の回答

	意見・情報の概要*	食品安全委員会の回答
1	<p>国際汎用添加物は、「(1)FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）で一定の範囲内で安全性が確認されており、かつ、(2)米国及びEU諸国等で使用が広く認められていて、国際的に必要性が高いと考えられる添加物」とされているが、カンタキサンチンについては、添加物評価書の10ページに、「現在、EUにおいて食品への使用は認められていない。」と記載されていることから、要件(2)に該当せず、国際汎用添加物（現在55品目）から消除されるべきものである。</p> <p>また、米国を念頭に使用基準で対象食品を「魚肉ねり製品（カマボコに限る）」とされたが、本品の空気酸化が速いことから、一般的にはカルミン（国際汎用添加物として評価中）が使用されている。カンタキサンチンが未承認であることが輸入障壁になっているとは考えにくいので、過去に食品衛生法違反の事例があるカルミンの指定を優先すべきである。</p> <p>従って、本品は「国際汎用添加物」ではなく、国内外の食品事業者にとっても、必要性が乏しいので、評価の対象とせず、いわゆる「門前払い」とすべきものである。</p> <p>食品安全委員会は、優先度の高いものから評価すべきである。</p>	<p>食品安全委員会は、リスク管理機関からの評価の要請に基づき、リスク評価を行っております。</p> <p>国際汎用添加物の指定手続き等のリスク管理措置に関するご意見については、リスク管理機関である厚生労働省にお伝えいたします。</p>
2	<p>資料は良く整理され理解できました。以下の意見を伸ばさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ADI値などの諸設定は妥当です。 2. 当物質には免疫応答促進作用がある 	<p>御意見ありがとうございました。</p>

	<p>ことが動物実験で示されております。このような反応は生体とりわけ、人において有益なものなのかどうか知りたいところです。有効なものであることを期待し、企業側の努力を望みます。</p>	
--	--	--

※頂いた意見・情報をそのまま掲載しています。